

平成 27 年度 経営発達支援計画評価委員会

日 時：3月18日（金）午後5時30分～

場 所：扶桑町商工会館2階会議室

テーマ：平成27年度経営発達支援計画の成果と課題

出席者：評価委員 鈴木洋（商工会長）、小山勝己（扶桑町役場産業環境課主幹）、服部正直（丹羽金融協会幹事）、天野末光（事務局）

オブザーバー 長橋芳幸（丹羽金融協会）、森信竹（丹羽金融協会）、伴新太郎（丹羽金融協会）、長谷川隆司（丹羽金融協会）

内 容：扶桑町商工会事務局石原俊之より、平成27年度の経営発達支援計画の実績と今後の課題についての説明がなされた。平成28年度における課題としては、①扶桑町内における「ビジネスに対して意識の高い企業」の掘り起し、②フォローアップ支援策の利用促進と充実、③創業支援事業のハンズオンがあげられた。これらの課題に対して、平成28年度においては、①扶桑町商工会と丹羽金融協会の共催事業として、平成28年6月から平成29年1月までの全8回の連続企画として「扶桑ビジネスセミナー（仮称）」の開催が提案され、承認された。これにより、地域内におけるビジネスに対する意識が高まり、経営計画の策定等に繋がっていくことを期待している。また、②フォローアップについても延回数目標は上回ったものの、コンテストへの応募などの実績については下回っているため、巡回内容の充実を図ることを求められた。更に、③創業支援事業については、扶桑町内における創業環境の整備を図るために、産業力強化法に基づく、「創業支援事業計画」の認定取得を近隣の岩倉市・大口町および扶桑町の役場と共同で取得する旨が確認され、平成28年5月の認定を目指すことが確認された。今後、認定が取れた場合の商工会（産）、扶桑町役場（官）、金融機関（金）の役割についても確認がおこなわれた。